

議案第50号 平成28年度牧之原市一般会計補正予算（第2号）

1. 1番 平口朋彦 議員

1 歳出 3款 2項 5目 小規模保育設置促進事業 60,000千円

- (1) 今後想定される待機児童対策として、小規模保育所設置の必要性は充分認められるところではある。その上で今回の事業に関し、近隣住民への周知とご理解を得ることも大事であると思われるが、こういった対応がとられているのか。先ごろ完成した波津2号避難地へ続く避難路への通り道でもある。有事の際には「共助」をお願いせねばならないとも考えられるが。
- (2) 設置場所である予定地へ進入するには隣接する「波津42号線」を利用するわけだが、「福岡天王森線」は小中学生の通学路であるほか生活道路として交通量が多く、かねてより往来する自動車のスピードが高いと懸念されているところでもある。当該施設設置にあたり、周辺の交通事情にも影響を及ぼすと予想されるが、利用者の利便性を維持するために「波津42号線」の始点、終点それぞれからの進入を可能としたままで、かつ後顧の憂いなきよう市として整備を検討せねばならないと思われるが如何か。

2 歳出 6款 1項 5目 蓄電池交換工事 842千円

- (1) 当該蓄電池交換の理由は蓄電効率の劣化とのことだが、経年によるものなのか。劣化率など判断する基準は。また同様の自家発電機についてもデータ管理などにより、当初予算で計画立てた交換はできないのか。

3 歳出 8款 2項 3目 津波避難路(市道静波74号線)整備 7,144千円

- (1) 「津波防災まちづくり計画」で川崎地区の先導プロジェクトの1つとして位置付けられている当該事業早期着手の必要性は論を俟たない中、今回4mへの拡幅が予定されている。当該道路を利用し多くのかたがより安全に避難をするためには、ブロック塀などが倒壊し道路狭窄を引き起こすなどの可能性をできる限り排除すべきであると考え。地権者のかたには「牧之原市生垣づくり補助金」などの利用を奨めたりはするのか。

補償費の中に、それらに準ずるものを内包するのであればおおよその内訳は幾らを見込んでいるのか。

4 歳出 10 款 2 項 1 目 片浜小学校・相良小学校統合推進事業費 1,505 千円

(1) 講師謝礼は教育課程検討のためのものとのことだが、受講対象者はこういった方で何名ほどを予定しているのか。

(2) 学用品 28 名分について。体操服などが該当するとのことだが、一人当たりの枚数と枚数決定の根拠は。ロゴが入った学用品は全て支給するとの認識でいいのか。また相良小学校は現在、市内で唯一、性差のある体操服を使用している。解消のための検討がされていると伺っているが、来年の統合時はどうなるのか。

## 2. 5 番 名 波 喜 久 議員

1 歳出 2 款 1 項 9 目 自治基本条例推進費 講師謝礼 1,661 千円

(1) 1,661 千円追加補正され総額 4,626 千円となったが、高額予算となった内容について伺う。

議案第 51 号 平成 28 年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
---

## 1. 3 番 藤 野 守 議員

1 歳入 3 款 2 項 1 目 財政調整交付金 31,906 千円

(1) 国保税の減額補正は被保険者が減少したためとなっている。このため不足分は財政調整交付金及び繰越金の増額補正をしている。この中で国庫の財政調整交付金は増額されているが、なぜ県財政調整交付金は実績に基づいて増額されないのか伺う。

2 歳入 9 款 1 項 1 目 一般会計繰入金 504 千円

(1) こども医療費助成制度により国の療養給付費等負担金の減額されることにより一般会計繰入金を 504 千円増額し、4,004 千円となる。この見込額の根拠について伺う。